



佐藤 登さん(81)
クニ子さん(78)
登米町・九日町
昭和37年4月入籍

溜めずに言い合っつづが円満のコツ

★なれ初めは
【登】互いに登米出身で、仲人の紹介で結婚したんです。初めて会ったときは、元気で健康そうなんだなと思ったね。
【クニ子】お見合いで出会ったときに、まじめそうなんだなと思って結婚したの。だから今までやってこれたのがな。
★印象深い出来事は
【登】昔の交通手段といえば、仙北鉄道やバスが主流だったけど、今ではほとんど自家用車。長生きすると、時代の変化を体験できで面白いね。宮崎県で開催されたねりんピックのマラソンに、代理で出場したこともあったね。解

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

ふるさととは心の支え

このたび、広報とめへの寄稿依頼があり、あらためて、ふるさとでの良き思い出を語ろうと思います。

私は、小さい頃から野球が好きで、今も変わりありません。野球との出会いは、戦後、父親が東京に行ったとき、野球のグローブとボールを持って帰ってきたことでした。グローブとボールは、新宿に駐留していたアメリカ軍兵士から貰ったものでした。当時私は小学生で、遊び道具は何もない時代でした。野球道具を見るのはもちろん初めて。グローブの使い方やボールの投げ方など分かりません。しかし、友達とわいわい騒ぎながら、初めてのキャッチボールを楽しんだのを覚えています。

飯塚 益次郎さん(80)

東京迫会副会長
迫町(赤辺)出身



これがきっかけで野球に興味を持ち、社会人になっても続けました。仕事で山梨県に赴任したときは、社会人野球部にお世話になり、東京ドームで開催されるおなじみの都市対抗野球大会など各種大会に参加しました。大会に参加する中で、JR東日本東北、さくら銀行などに所属する佐沼高校OBの選手と知り合い、懐かしいふるさとを語り合いました。

最近、東北楽天イーグルスの投手として活躍した山村宏樹さんから、一昨年夏の甲子園予選宮城県大会の佐沼高校の活躍ぶりを耳にし、感動しました。甲子園に出場できるような応援をしています。

私の実家は酪農家で、昔はペコポイ、乳搾りなどいろいろ手伝いました。現在仕事で、高校、大学(主に農学部)と関わることもあり、当時の経験や思い出が話題づくりに役立つと思います。

また、仕事柄、行政や農協関係者と話す機会があります。登米市は農業政策で斬新な展開をしていると聞き、ふるさとを誇りに思っています。私にとってふるすとは、心の支えであり、生活に欠かせない存在です。

おらほの物産

とよま観光物産センター「遠山之里」



市内8社の油麩や蜂蜜などさまざまな商品を取りそろえ



今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の高橋八代枝さんにお話を伺いました。
Q 遠山之里で売れ筋の商品を教えてください
当店では、市内8社で製造された油麩を取りそろえてい

ます。表面の皮が軟らかいもの、しっかりとした食感のもの、小麦粉に米粉を混ぜているものなど、店によって特徴が違います。食べ比べてはいかがですか。

Q お勧めのお菓子や農産物などを教えてください

登米名物の「太白飴」は、麦芽もち米を原料にしており、砂糖を一切使用していません。麦芽に含まれる成分が、もち米のでんぷんを糖に変え、自然な甘みがあります。また、登米町の老舗醤油屋海老喜商店の醤油を入れて焼き上げた「醤油まころん」や、仙台味噌で味付けした仙台麩



【問い合わせ】とよま観光物産センター「遠山之里」
☎0220(52)5566

まちの文芸
短歌

作品募集!
1月号は俳句、川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、11月30日(水)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

秋の風ほを掠めて過去りし
忌き妻惚い一人佇む
亡き夫を偲ぶ庭先かの日より
芽吹き広がるまんじゅしゃげ咲く
朝のこと夕べ忘るるまでに古い
記す日記に呆れる日頃
赤紫蘇のグラスに注ぐ太陽と
夏の思い出いっきに飲みほす
青空に唯一匹のトンボ飛ぶ
仲間さがしかさびしげに見ゆ

星 慶堅 (迫)
熊谷夕へ子 (中田)
千葉 源治 (中田)
三浦 智恵 (中田)
本宮やつの (中田)

震災で倉瓦壁落ちたれば
昔の名残り又ひとつ消ゆ
冷蔵庫食器棚など買い替えて
気分新たに厨に立てり
子や孫に新米送り電話なる
家族みんな喜びの声
丸盆に毬栗ひとつポンと乗せ
ワインを添えて今宵の月見
和らぎのねこの寝顔に絆れて
虫音ねむねこしづ共寝する

阿部ふみ子 (米山)
佐々木康子 (米山)
佐藤ヒサ子 (米山)
三上久美子 (南方)
菅野 郭公 (津山)

応募総数15作品